

JR東日本労働組合

秋田ジャーナル

JR東日本労働組合

秋田地方本部

発行者 ～ 佐藤 俊樹

編集者 ～ 教 宣 部

秋田市中通6丁目7-9秋田県畜産ビル1F

TEL 835-4040 FAX 835-4060

新春旗開き集い、決意新たに!

地方本部はJR協議会と合同で1月7日、新春旗開きをイヤタカにて開催し、御来賓の皆さんからの連帯の挨拶を頂きました。佐藤春美 JR 協議会副議長の挨拶と乾杯で懇親会がはじまり、本部から佐藤光雄委員長と嶋田中執が出席し交流を深めあい抽選会に移行。今年の最高賞は車セ分会の菅原さんに！組谷 JR 協議会議長の中締めで閉会しました。

御来賓の皆さん

連合秋田～ 黒崎会長
 東北労金～ 東海林秋田県本部長
 北村秋田支店次長
 全交運 ～ 高橋所長
 退職者連絡会～渡辺会長
 秋田市議会～ 藤枝市議会議員
 中央本部 ～ 佐藤委員長
 嶋田中執
 今年も宜しくお願いします！！



佐藤俊樹地本委員長の旗開き挨拶

新年あけましておめでとうございます。御家族共々、新春を健やかに迎えの事と御慶び申し上げます。お忙しい中駆けつけて頂いた御来賓の皆さんに感謝申し上げます。JRを取り巻く状況は厳しく、のぞみ34号の台車亀裂事故は衝撃的でした。鉄道は効率化でカバーしようにも技術革新で新システムを構築しようにも、経験が基本作業の原点である以上マンパワーが欠かせない業種である事の認識を持ち合いたい。また、企業で無資格検査・品質データの改ざん、違法残業など信用・信頼性の低下が表面化しました。安全安定輸送を目指す私達にとっては他人事ではなく、経験や勘に乗じて根拠のない曖昧理論での作業が無い。正しい主張が時として理想で済まされていないか？労働者のチェック機能を果たす事が財産となり会社の発展につながると考えます。「現場第一線で働く技術・技能集団である事に自信を持ち、会社の施策に問題意識を反映させる。」事から組織拡大を目指し、一人一要求行動をきっかけに問題意識の醸成と共有化を柱に据え組織の結束を高めて2018春闘に挑んでいきたい。

「びゅうプラザ店舗の見直しと業務移管」の提案内容！

「びゅうプラザ能代駅」→2018年3月31日で営業終了

「びゅうプラザ秋田駅」→2018年6月1日(株)びゅうトラベルサービスに業務移管

地方本部は昨年末、支社から上記の提案を受け「交渉通信」で具体的内容を明らかにしています。1月7日の業種別交流会でも話されていましたが、分会・営業協議会連携しながら仲間の声を汲み上げていきましょう！！